

佐世保市老人福祉計画・第7期佐世保市介護保険事業計画パブリックコメント結果

ご意見	回 答
全体として	
1	<p>全体としては良く纏まっていると思いますが、具体性が少し欲しいと思います。第8, 9期に入るのかもしれませんが全体構想、構成が分らず意見を出しづらい面もあります。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>具体的な実施内容につきましては、計画書の中の「今後の方針」や「第7期の方針」に記載させていただいております。</p> <p>全体の構成等が分かりづらいというご指摘につきましては、次期計画策定の際にご指摘の点を踏まえ、わかりやすい計画書づくりに努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
2	<p>第6期計画案と比較して、データは修正され又地域包括ケアシステム等新たな面も見られますが、肝心の医療と介護の連携等表現は違いますが中身はほぼ同様で今後の進展に期待したいと思えます。</p> <p>医療と介護の連携につきましては、これまでも医師会や歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター等と連携し、情報共有のための仕組みづくりや、研修会の開催等、在宅医療・介護連携推進のための取り組みを行ってきたところです。</p> <p>4月からは「在宅医療・介護連携サポートセンター」が開設される予定となっており、今後は、センターを拠点とした医療と介護の連携のための事業を、引き続き取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
3	<p>一部NPO等の記載はありますが、全体としてフォーマル又フォーマル的な立場で記載されていると思えます。今後のコミュニティは障害者を含め全員参加でなければ維持が難しくなるように思われます。</p> <p>ご指摘の点を踏まえ、関係部署や関係機関と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

佐世保市老人福祉計画・第7期佐世保市介護保険事業計画パブリックコメント結果

ご意見	回 答	
個別意見		
4	<p>ページ7：地域特性からみる主要課題 各地域ごとに特性は大きく異なります。インフラ、人口、高齢化率等の要素があります。地域毎の対策が求められると思いますが市は公平なサービスの観点からピアサポートに近いインフォーマルな社会資源の活用が求められると思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、地域によって特性が異なることは理解しております。平成28年度から「生活支援体制整備事業」を開始し、ボランティア等の生活世院の担い手の養成・発掘など地域資源の開発やネットワーク化を行う「生活支援コーディネーター（地域支えあい推進委員）」の配置を行っております。そのコーディネーターを中心に地域の社会資源を活用しながら、生活支援・介護予防サービスを推進していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
5	<p>ページ8：介護予防への取り組みの強化 いきいき100歳体操、各地域での活動（敬老会等）等現在行われていますが、参加者は比較的元気な方が主で、高齢者の階層分化が進んでいる様に思います。しかも不参加者は多数であり、どう対処するのか今後対策が求められてくると思われま。</p>	<p>現在、110団体が地域の自主活動として「いきいき百歳体操」に取り組んでおられます。その中には、ご指摘のとおり比較的元気な高齢者から、介護保険サービスを利用しながら地域の通いの場へ参加している方もいらっしゃいます。状態像が異なる方が集まることで元気な高齢者が他の高齢者をサポートし、介護保険サービス以外の日に外出することで、閉じこもり防止や生活範囲の拡大が図れるなど相乗効果が期待できます。また、早い段階の介護予防に取り組むことは、階層分化の縮小につながることで考えられます。</p> <p>次に、不参加者への対策ですが、身近な地域で自主的活動を実施することで、参加しやすい環境の整備や体操、脳トレなど参加者の関心が得られるような活動を行い、市としても活動団体を拡大継続するために体操支援など行っています。</p>
6	<p>ページ9：孤独死 孤独は一人だけと外部とつながっている、孤立は一人でしかも外部と断絶している。問題は孤立の方と思われ、ある大学では孤立死の表現をとっていますが。</p>	<p>ご指摘いただいた「孤立」に関しても、重要な課題と認識しており、本計画においては「孤独死等」という形で記載しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
7	<p>ページ11：地域包括ケア 最終的には知的障がい者、精神障がい者（発達障がい者）、身体障がい者だけでなくその周辺のかたも含め具体的にどう支えていくかまで考慮する必要があると思います。そのためには崩壊した地域共同体に代わりにコミュニティがどこまで復活するかにかかっていると思います。“みんなで助け合って頑張りましょう”等スローガンだけでなく、皆が参加、活動する地域が求められると思います。</p>	<p>①で記載しているとおり、平成28年度から「生活支援体制整備事業」を開始し、ボランティア等の生活世院の担い手の養成・発掘など地域資源の開発やネットワーク化を行う「生活支援コーディネーター（地域支えあい推進委員）」の配置を行っております。そのコーディネーターを中心に地域の社会資源を活用しながら、生活支援・介護予防サービスを推進していきたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

佐世保市老人福祉計画・第7期佐世保市介護保険事業計画パブリックコメント結果

ご意見		回 答
個別意見		
8	<p>⑤ページ13：計画の基本方針 計画の最終期限が平成25年としても実行出来ることはその都度実行し市民に公表することが肝要と思われる。そうすることで市民の意識も上がり、より効果が出ると思われれます。</p>	<p>ご指摘いただいた点を踏まえ、中間報告の公表等検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
9	<p>“パブコメのあり方” パブコメのシステムは一般市民が自由に意見を出せる大切かつ重要なシステムであります。しかし運営の実態には多少疑問もあります。一般市民がネットで見つけるには資料が膨大すぎます。パブコメを求め市役所関連施設を訪れる方もまずいでしょう。大学の福祉関係の教師は“パブコメは立派なシステムだが運用を見ると、パブコメを求めるのが目的か又パブコメを求めたという実績が欲しいのか分からない場合がある”とも言っています。今回のパブコメについては高齢者の意見があると思われれますが、意見があっても書くのは苦手（パソコンが使えない）等の人もいます。運用は難しい面もあると思いますが、直接意見を聞く等ケースバイケースに応じ検討していただけたらと思います。</p>	<p>パブコメのあり方について貴重なご意見をいただきありがとうございます。パブコメはその名のとおりに、市民の皆様のお考えをお聴きする大切な機会と考えており、本来は市ホームページのほか、支所・行政センターや関係各施設にも設置し、広報紙や町内回覧等を使って事前周知を図るなど多くの方からのご意見をいただけるような運用を目指しておりますが、本件のように、国の介護報酬改定を反映させる必要があることなどにより、計画書策定が遅れたことで、事前の十分な周知ができず、反省するところでございます。</p> <p>このたびの貴重なご意見を参考にさせていただき、改善を図ってまいりますとともに、高齢の皆様のご意見を聞き出せるような事前の取り組みなども研究してまいりたいと思っております。</p>